

## Ⅱ. 中心市街地の活性化について（問 4～問 6）

【問 4】 中心市街地へいく場合の主な目的は何ですか。（複数回答：n=2,308）

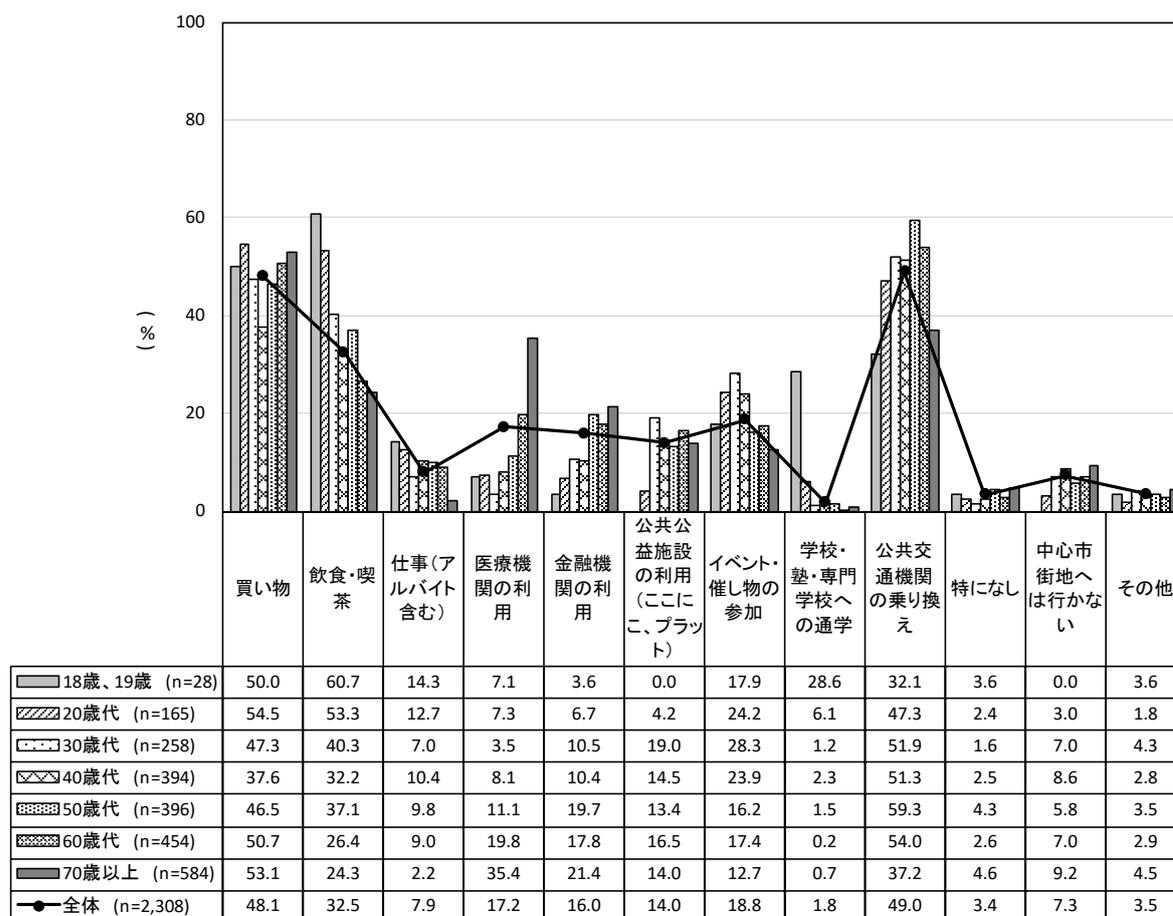
### （1）全体的傾向

「公共交通機関の乗り換え」と回答した人の割合が 49%で最も高く、次いで「買い物」（約 48%）、「飲食・喫茶」（約 33%）と続いている。

### （2）年代別にみた特性

18 歳、19 歳では、「飲食・喫茶」と回答した人の割合が 61%、20 歳代と 70 歳以上では、「買い物」と回答した人の割合が 50%～55%と最も高くなっている。

一方、30 歳代～60 歳代では、「公共交通機関の乗り換え」と回答した人の割合が約 51%～59%と最も高くなっている。



【問5】現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。  
(n=2,350)

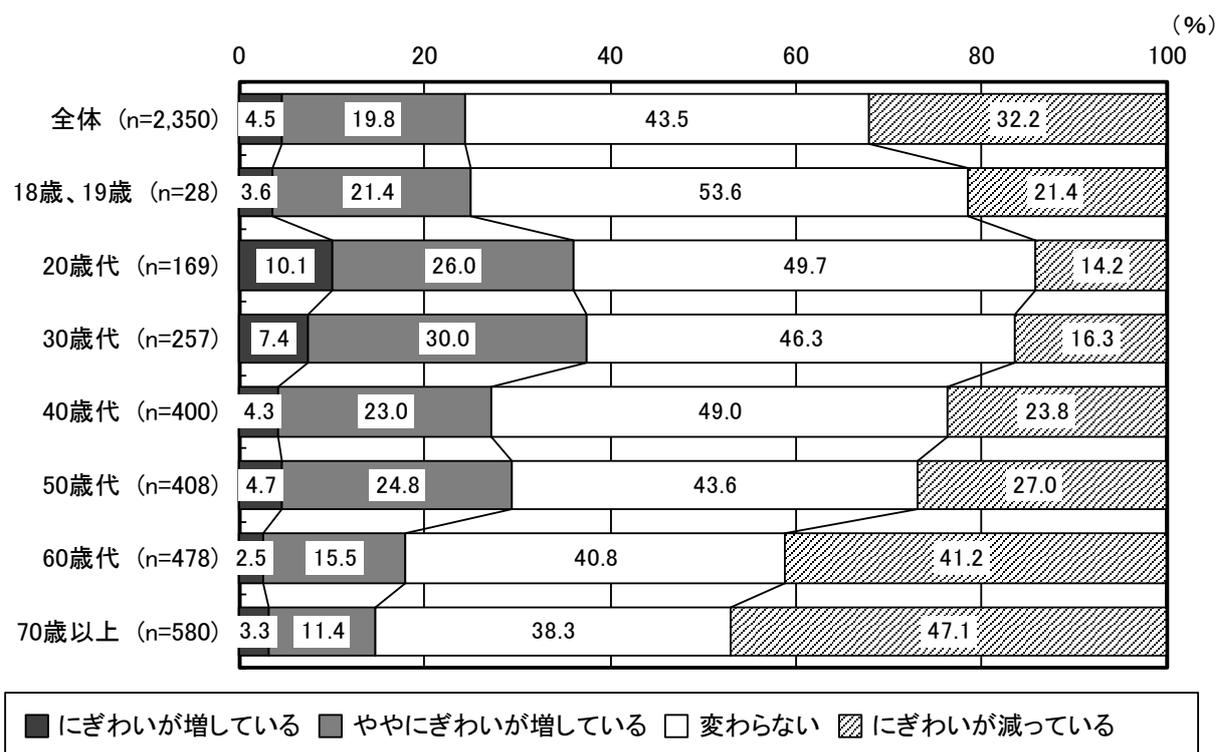
(1) 全体的傾向

「にぎわいが増している」、「ややにぎわいが増している」と回答した人を合わせた割合は約24%となり、「にぎわいが減っている」と回答した人の割合が約32%となっている。

(2) 年代別にみた特性

「にぎわいが増している」、「ややにぎわいが増している」と回答した人を合わせた割合が、20歳代で約36%、30歳代で約37%となっており、他の年代と比べ高くなっている。

また、70歳以上で、「にぎわいが減っている」と回答した人の割合が約47%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



【問 6】現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取組みが重要だと思いますか。（複数回答：n=2,356）

（1）全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が約 59%で最も高く、次いで「空き店舗や駐車場等の低未利用地の活用」（約 48%）、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」（約 42%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が最も高く、約 48%～75%となっている。

また、20 歳代で、「通りの景観や歩行空間の環境整備」と回答した人の割合が約 30%となっており、他の年代と比べ高くなっている。

